

# 公開講演会

共催：知的コミュニティ基盤研究センター  
情報学群・現代 GP

# マンガと アニメーション の間

マンガとアニメーションは、ともに物語（時間表現）を描線によって表す創作物として、強い相互影響のもとに発展した歴史がある。W・マッケイ、手塚治虫、大友克洋、宮崎駿などマンガとアニメ双方に巨大な足跡を残した作者たちの軌跡を通して、紙とフィルムによる表現の特質の違い、時間芸術としてのマンガの未来を考える。

編集家・マンガプロデューサー

## 竹熊健太郎 氏

1960年（昭和35）東京生まれ。1981年よりフリーで編集・文筆活動に従事。主活動ジャンルはマンガとアニメーションを中心としたサブカルチャー領域。2003年4月より多摩美術大学で「漫画文化論」非常勤講師を務める。2009年4月より京都精華大学マンガ学部マンガプロデュース学科教授。  
主な著書に『サルでも描けるまんが教室』（小学館）『私とハルマゲドン』（ちくま文庫）『籠棒な人々』（河出文庫）『庵野秀明パラノ・エヴァンゲリオン』（太田出版）『20世紀少年探偵団』（小学館）など。



© 相原 コージ・竹熊 健太郎 / 小学館



## 2月13日（土） 13:00 ~ 14:30

場所：筑波大学 筑波キャンパス 春日地区  
情報メディアユニオン 2階 メディアホール  
つくばエクスプレス・つくば駅から徒歩 10分 駐車場有

**入場無料・申込不要** (定員 100名・当日先着順)

問い合わせ先：筑波大学 知的コミュニティ基盤研究センター  
e-mail: kc-office@slis.tsukuba.ac.jp  
TEL: 029-859-1524 (学内からは内線 81524)  
Web サイト: <http://www.kc.tsukuba.ac.jp>

